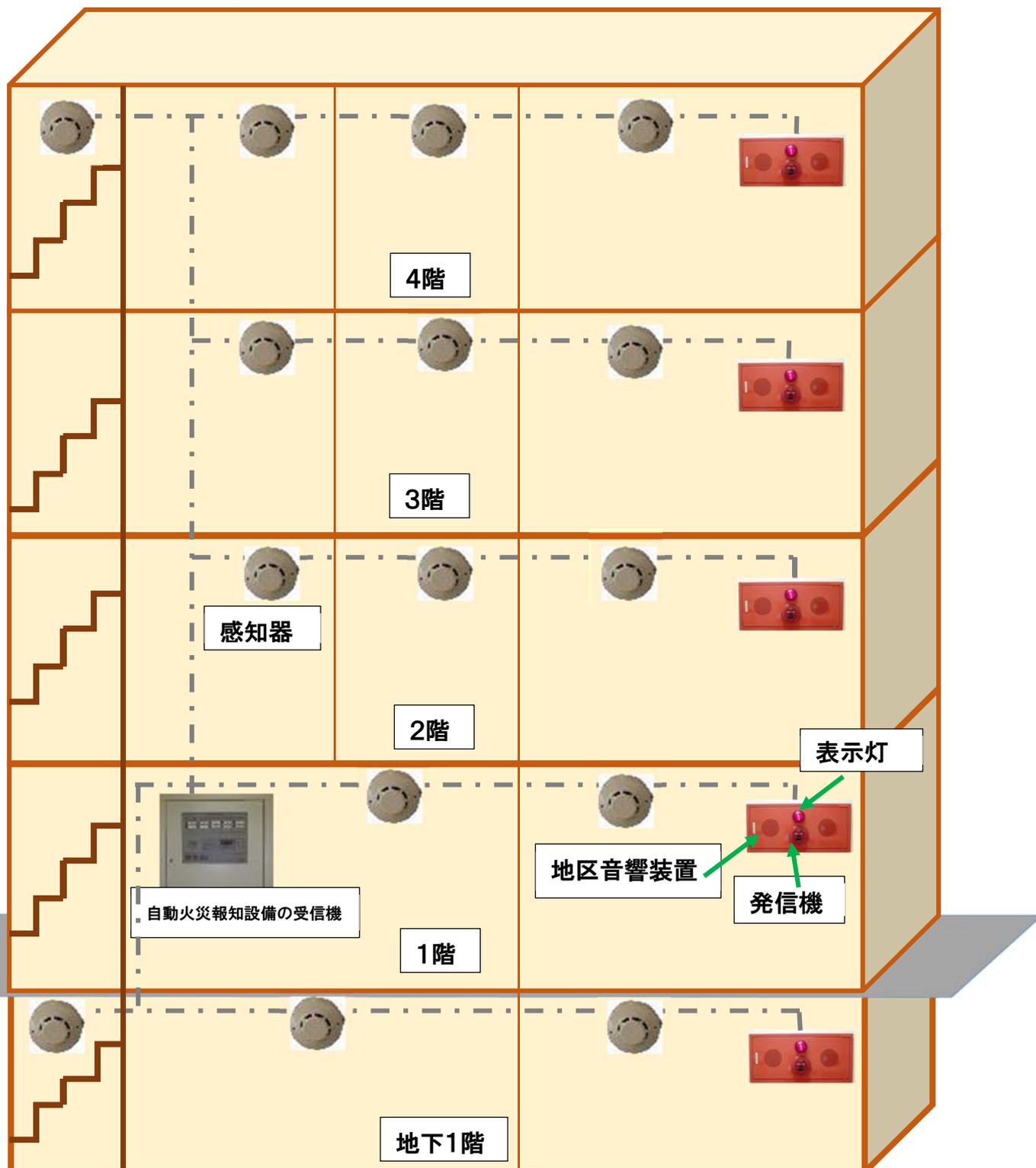


# 自動火災報知設備

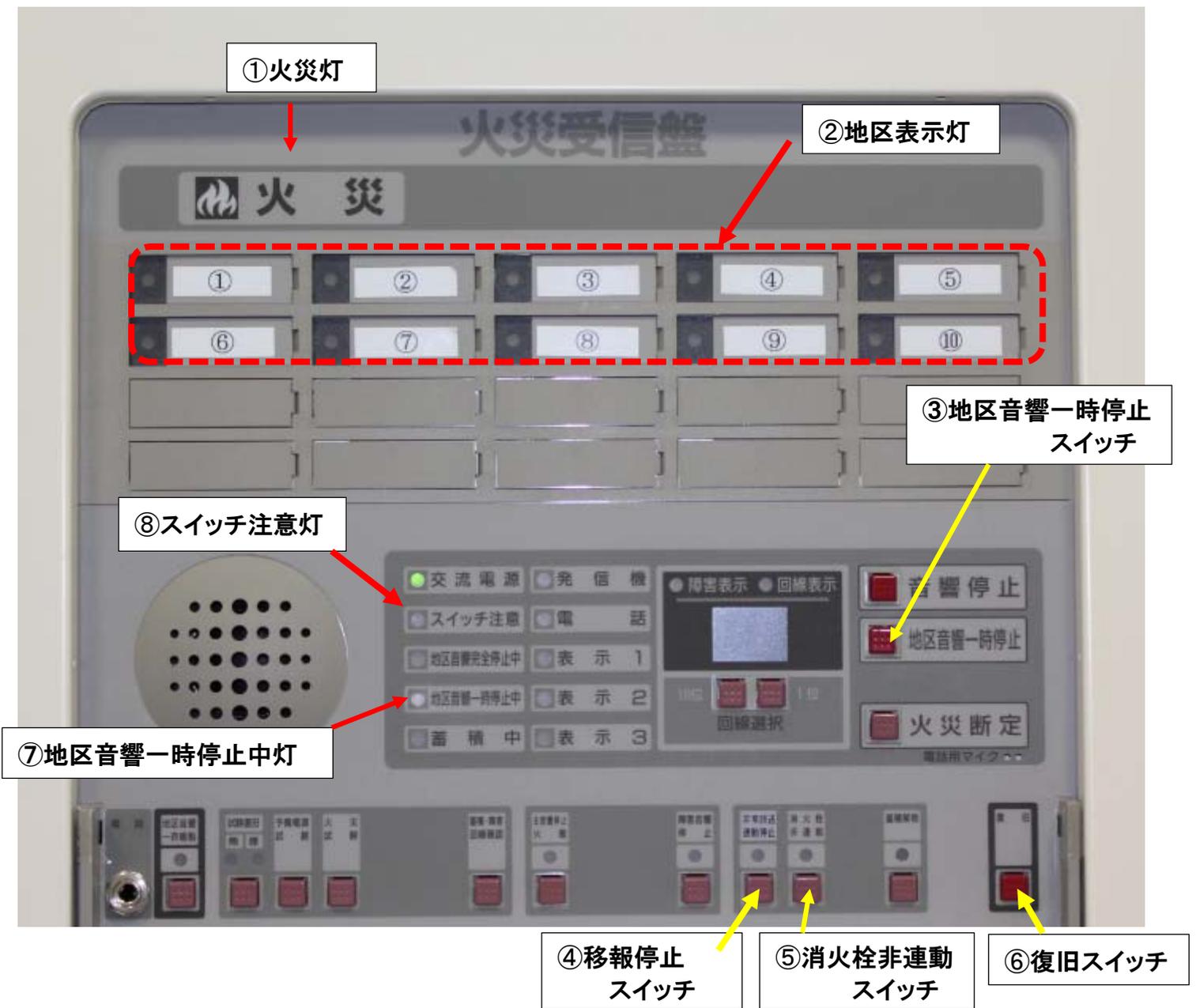
- ★自動火災報知設備は、火災の発生を早期に感知し、建物の関係者などに知らせる設備です。
- ★自動火災報知設備の構成機器のうち、受信機は、感知器等から発せられた火災信号を受信し、火災の発生を建物の関係者などに、ベルの鳴動等により知らせるものです。

## 【自動火災報知設備の構成例】

※ 主要な機器のみの抜粋です。



【自動火災設備の受信機の主なスイッチ等 構成例】



① 火災灯	感知器等からの火災信号を受信したとき、自動的に赤色に点灯し、火災の発生を知らせる。
② 地区表示灯	火災が発生した警戒区域を自動的に点灯表示する。
③ 地区音響一時停止スイッチ	スイッチを押すことで地区音響装置の鳴動が一時停止する。このスイッチが押されているときは、⑦地区音響一時停止中灯が点滅する。
④ 移報停止スイッチ	受信機が火災信号等を受けても他の設備・機器(例:放送設備)を動作させないスイッチ。当該スイッチが押されていると、他の設備・機器が起動しない。
⑤ 消火栓非連動スイッチ	発信機と屋内消火栓ポンプの起動スイッチが兼用されている場合、このスイッチが押されていると、消火栓ポンプが起動せず、⑧スイッチ注意灯が点滅する。
⑥ 復旧スイッチ	受信機を元の監視状態に戻すためのスイッチ。

# 【火災時の受信機の対応要領】

## 作動時

自動火災報知設備が作動した場合、点灯する地区表示灯と警戒区域一覧図を照らし合わせ、感知器等が作動した場所を確認する。



## 復旧

自動火災報知設備が作動し、火災ではないことや消火が完了したことが確認できた場合、受信機等を監視状態に戻す

感知器が作動した原因を特定



発信機が押下されていた場合、押しボタンを戻す



復旧スイッチを押す

復旧スイッチ押下後も継続してスイッチ注意灯などが点滅している場合は、その対応を図る。

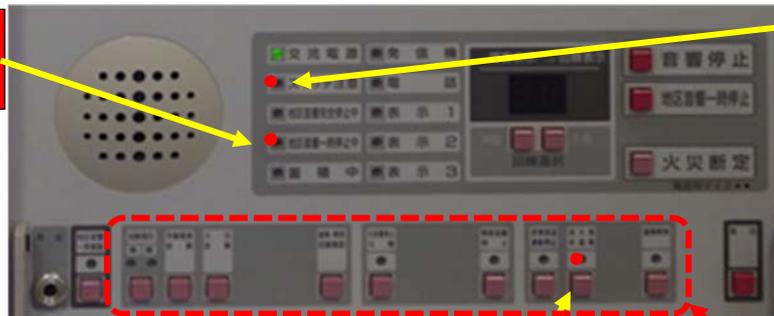
## スイッチ注意灯などの点滅

スイッチ注意灯が点滅などしている場合は、元に戻す。

地区音響装置一時停止中  
灯点滅

建物内にベルが鳴動しない。

地区音響一時停止スイッチを押し、元に戻す。



スイッチ注意灯点滅

・連動する他設備が起動しない  
・建物内にベルが鳴動しない。  
など

消火栓非連動ランプ点灯

屋内消火栓設備のポンプが起動しない。

消火栓非連動スイッチを押し、元に戻す。

点灯しているランプ下のスイッチを押し、元に戻す。